



平成24年3月定例会

大館市議会会議録（第1号）

自 平成24年2月28日 開会
至 平成24年3月19日 閉会

大 館 市 議 会

2月28日（火曜日）

第1日目

平成24年 2月28日（火曜日）

議事日程第 1 号

平成24年 2月28日（火曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案等の上程

1. 報 第 1 号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
2. 認 第 1 号 専決処分の承認について（平成23年度大館市一般会計補正予算（第10号））
3. 認 第 2 号 専決処分の承認について（平成23年度大館市一般会計補正予算（第11号））
4. 認 第 3 号 専決処分の承認について（平成23年度大館市小規模水道等事業特別会計補正予算（第 1 号））
5. 議案第 1 号 地方自治法第96条第 2 項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例案
6. 議案第 2 号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
7. 議案第 3 号 大館市情報公開条例の一部を改正する条例案
8. 議案第 4 号 大館市職員定数条例の一部を改正する条例案
9. 議案第 5 号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
10. 議案第 6 号 大館市特別会計条例の一部を改正する条例案
11. 議案第 7 号 大館市山瀬財産区財政調整基金に関する条例案

12. 議案第 8 号 大館市ケアハウスに関する条例の一部を改正する条例案
13. 議案第 9 号 大館市墓地等の経営の許可等に関する条例案
14. 議案第 10 号 大館市介護保険条例の一部を改正する条例案
15. 議案第 11 号 大館市湯夢湯夢の里に関する条例の一部を改正する条例案
16. 議案第 12 号 大館市県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例案
17. 議案第 13 号 大館市森林整備事業分担金徴収条例を廃止する条例案
18. 議案第 14 号 大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案
19. 議案第 15 号 大館市営住宅に関する条例の一部を改正する条例案
20. 議案第 16 号 教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案
21. 議案第 17 号 大館市図書館条例の一部を改正する条例案
22. 議案第 18 号 大館市公民館条例の一部を改正する条例案
23. 議案第 19 号 大館市立スキー場に関する条例の一部を改正する条例案
24. 議案第 20 号 大館市消防団員の定員及び任免に関する条例の一部を改正する条例案
25. 議案第 21 号 大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例案
26. 議案第 22 号 大館市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
27. 議案第 23 号 大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
28. 議案第 24 号 議決内容の一部変更について（財産の処分）
29. 議案第 25 号 市道路線の廃止について（二井田工業団地 3 号線）
30. 議案第 26 号 市道路線の認定について（二井田工業団地 3 号線）
31. 議案第 27 号 大館市過疎地域自立促進計画の一部変更について
32. 議案第 28 号 平成23年度大館市一般会計補正予算（第12号）案
33. 議案第 29 号 平成23年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）案
34. 議案第 30 号 平成23年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）案
35. 議案第 31 号 平成23年度大館市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）案
36. 議案第 32 号 平成23年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）案
37. 議案第 33 号 平成23年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）案
38. 議案第 34 号 平成23年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第 2 号）案
39. 議案第 35 号 平成23年度大館市田代診療所事業特別会計補正予算（第 1 号）案
40. 議案第 36 号 平成23年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第 2 号）案
41. 議案第 37 号 平成23年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）案

- 42. 議案第 38 号 平成23年度大館市公営駐車場事業特別会計補正予算（第1号）案
- 43. 議案第 39 号 平成23年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第2号）案
- 44. 議案第 40 号 平成23年度大館市奨学資金特別会計補正予算（第1号）案
- 45. 議案第 41 号 平成23年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第3号）案
- 46. 議案第 42 号 平成23年度大館市土地取得特別会計補正予算（第1号）案
- 47. 議案第 43 号 平成23年度大館市宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）案
- 48. 議案第 44 号 平成23年度大館市宅地造成事業特別会計への繰入れについて
- 49. 議案第 45 号 平成23年度大館市財産区特別会計補正予算（第2号）案
- 50. 議案第 46 号 平成23年度大館市水道事業会計補正予算（第4号）案
- 51. 議案第 47 号 平成23年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第1号）案
- 52. 議案第 48 号 平成23年度大館市下水道事業会計補正予算（第3号）案
- 53. 議案第 49 号 平成23年度大館市病院事業会計補正予算（第4号）案
- 54. 議案第 50 号 平成24年度大館市一般会計予算案
- 55. 議案第 51 号 平成24年度大館市国民健康保険特別会計予算案
- 56. 議案第 52 号 平成24年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案
- 57. 議案第 53 号 平成24年度大館市介護保険特別会計予算案
- 58. 議案第 54 号 平成24年度大館市介護サービス事業特別会計予算案
- 59. 議案第 55 号 平成24年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案
- 60. 議案第 56 号 平成24年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案
- 61. 議案第 57 号 平成24年度大館市休日夜間急患センター特別会計予算案
- 62. 議案第 58 号 平成24年度大館市田代診療所事業特別会計予算案
- 63. 議案第 59 号 平成24年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計予算案
- 64. 議案第 60 号 平成24年度大館市農業集落排水事業特別会計予算案
- 65. 議案第 61 号 平成24年度大館市公営駐車場事業特別会計予算案
- 66. 議案第 62 号 平成24年度大館市温泉開発特別会計予算案
- 67. 議案第 63 号 平成24年度大館市奨学資金特別会計予算案
- 68. 議案第 64 号 平成24年度大館市都市計画事業特別会計予算案
- 69. 議案第 65 号 平成24年度大館市土地取得特別会計予算案
- 70. 議案第 66 号 平成24年度大館市財産区特別会計予算案
- 71. 議案第 67 号 平成24年度大館市水道事業会計予算案
- 72. 議案第 68 号 平成24年度大館市工業用水道事業会計予算案
- 73. 議案第 69 号 平成24年度大館市下水道事業会計予算案
- 74. 議案第 70 号 平成24年度大館市病院事業会計予算案
- 75. 報 第 2 号 専決処分 の 報告 について（和解及び損害賠償について）

出席議員（27名）

1番	小棚木 政之君	2番	武田 晋君
3番	佐藤 照雄君	4番	小畑 淳君
5番	花岡 有一君	6番	中村 弘美君
7番	畠 沢 一郎君	8番	伊藤 毅君
9番	藤原 明君	10番	千葉 倉男君
11番	佐藤 久勝君	13番	虻川 久崇君
14番	石田 雅男君	15番	藤原 美佐保君
16番	斉藤 則幸君	17番	明石 宏康君
18番	佐藤 芳忠君	19番	吉原 正君
20番	佐々木 公司君	21番	佐藤 健一君
22番	田中 耕太郎君	23番	富樫 孝君
24番	田村 齊君	25番	菅 大輔君
26番	笹島 愛子君	27番	相馬 エミ子君
28番	高橋 松治君		

欠席議員（1名）

12番 仲 沢 誠 也 君

説明のため出席した者

市	長	小畑 元君
副 市	長	吉田 光明君
総 務 部	長	花田 鉄男君
総 務 課	長	阿部 徹君
総 務 課 長 補 佐	阿部	稔君
財 政 課	長	芳賀 利彦君
市 民 部	長	斎藤 まき子君
産 業 部	長	木村 勝広君
建 設 部	長	丸屋 義明君
比内総合支所	長	羽賀 一雄君
田代総合支所	長	下山 廣君
会計管理者	金	賢隆君
病院事業管理者	佐々木	睦男君

市立総合病院事務局長	明石和夫君
消 防 長	石井直文君
教 育 長	高橋善之君
教 育 次 長	大友隆彦君
選挙管理委員会事務局長	戸田恒夫君
農業委員会事務局長	奈良明彦君
監査委員事務局長	田村喜美雄君

事務局職員出席者

事 務 局 長	渡部清美君
次 長	豊田耕司君
係 長	笹谷能正君
主 査	長崎淳君
主 査	若松健寿君
主 査	佐々木 仁君

午前10時00分 開 会

- 議長（藤原美佐保君） これより、平成24年3月大館市議会定例会を開会いたします。
出席議員は定足数に達しております。
よって、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
諸般の報告は、お手元に配付しております文書により御了承願います。
-
-

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（藤原美佐保君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本定例会の会議録署名議員は、17番 明石宏康君、18番 佐藤芳忠君、19番 吉原正君を指名いたします。
-
-

日程第2 会期の決定

- 議長（藤原美佐保君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本定例会の会期は、本日から3月19日までの21日間と定めたいと思います。
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（藤原美佐保君） 御異議なしと認めます。
よって、会期は本日から21日間と決定いたしました。
なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。
-
-

日程第3 議案等の上程

- 議長（藤原美佐保君） 日程第3、議案等の上程を行います。
報第1号、認第1号から同第3号まで、議案第1号から同第70号までと、本日送付ありました報第2号の以上75件を一括上程いたします。
提出者の説明を求めます。

〔市長 小畑 元君 登壇〕

- 市長（小畑 元君） 3月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、12月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、東日本大震災への対応状況等について。

2月26日現在での本市への避難者は19世帯51人となっており、12月定例会で御報告申し上げ

ましたときより、1世帯減少しております。本市ではこの冬、避難者支援の一環として、日本赤十字社が行う手編みマフラープレゼントのあっせんや冬道の運転講習への参加協力を実施したところであります。放射性セシウムを含む一般廃棄物の焼却灰の取り扱いにつきましては、関東圏の自治体から本市に搬入され保管されていた焼却灰は、本年1月10日をもって、すべてのコンテナが排出元に返却されております。また、被災地の瓦れき処理につきましては、2月7日に秋田県と岩手県との間で協定が結ばれ、本市におきましても被災地の一日も早い復興に向けて支援が必要と考えており、瓦れきの受け入れの可能性と方法などについては、議会や市民の皆様から十分に御意見を伺いながら検討してまいります。本市の防災対策としましては、災害発生時に職員が緊急に避難所を開設・運営するための避難所開設・運営マニュアルを昨年12月に策定し、大地震等が発生した際にはこのマニュアルに従って初動対応をとるよう、全職員に指示したところであります。また、本年1月16日から携帯電話を活用したエリアメールを導入しており、緊急情報が一層受信しやすくなるものと期待しております。防災協定については、昨年12月21日に兵庫県篠山市との間で「災害時における相互応援に関する協定」を、1月20日には秋田県及び県内25市町村による「災害時における秋田県及び市町村相互の応援に関する協定」を、2月10日には秋田県石油商業協同組合大館支部との間で「災害時における石油類燃料の供給に関する協定」を締結したところです。今後も市民の安全・安心を守るため、防災体制の強化に努めてまいりますので、御理解をお願いいたします。

2、大雪への対応及び雪害の状況について。

この冬は、12月中旬から降雪が続き、昨年と同様の大雪となりました。また、1月から2月にかけて低温の日が続いており、特に1月29日には観測史上最低となるマイナス19度Cを記録し、1月の真冬日は過去最多日数に並ぶ18日となっております。この低温で融雪が少ないことなどに伴い除排雪回数が多くなっており、除雪経費も例年に比較して増加しております。本市における雪害状況は、2月26日現在、屋根からの転落等による負傷者19名、住宅等の損壊15件、農業用パイプハウス等の倒壊15棟となっているほか、一部の地区では停電や倒木が発生しております。市災害警戒対策室では、雪の処理に困っている市民の皆様からの相談や問い合わせに対応するとともに、市広報やホームページ・報道機関を通じて市や関係団体が行う除雪支援事業等の周知を図っているほか、秋田県雪下ろし注意情報が当地域に発表されるたび、緊急時情報一斉配信システムなどで市民に注意を喚起しております。今後は、気温の上昇に伴い融雪による被害が予想されますので、引き続き警戒に努めてまいります。

3、光ブロードバンド整備事業について。

市では、平成25年度までを目途に、通信事業者と連携した市内全域の光ブロードバンド環境の整備を進めております。本年度は、NTT東日本が早口局エリアの一部で光通信サービスを開始したことから、市では同エリアにつながる岩野目ルートと越山ルートの整備を進め、来る3月1日に供用開始することとなりました。また、24年度には比内地域の東館地区から大葛地

区までの延長69キロメートルを市で整備する計画としており、本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

4、インフルエンザの状況について。

季節性インフルエンザは、ことしに入ってから全国的に流行し、秋田県では1医療機関当たりの患者報告数が1月第4週の21.24人から翌週には35.09人と急増し、インフルエンザ警報が発令されました。本市では、2月に入ってから感染が拡大し、2月20日現在、市内小・中学校で809人が発症し、16学年と14学級について閉鎖措置をとりました。また、保育園や保育所では253人が発症しましたが、休園措置には至っておりません。依然警報は発令中であり、まだまだ気温が低く空気も乾燥していることから、引き続き手洗いやうがいの徹底など感染予防について市民に注意喚起してまいります。また、市立扇田病院におけるインフルエンザの集団感染につきましては、議員並びに市民の皆様大変御心配をおかけしているところであります。扇田病院では、2月24日までに職員4名、入院患者11名の発症が確認されたことから、同日、大館保健所に感染症発生報告書を提出いたしました。その後、新たに入院患者1名の罹患が確認され、同病院における罹患患者数は26日現在で職員4名、入院患者12名の計16名となっておりますが、入院患者12名は、現在、個室などに移っており、症状は軽快してきております。今後も院内感染対策マニュアルに従い、病棟での面会制限や職員のマスク着用、執務前の検温を徹底するなど、感染防止のための対策を継続してまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

5、第5期介護保険事業計画について。

平成24年度から26年度までの第5期計画では、高齢化の進行等に伴い引き続き介護給付費が増加するものと見込んでおりますが、介護保険料については、負担能力に応じた所得段階区分に細分化するとともに、県の財政安定化基金交付金の充当や市の介護給付費準備基金の取り崩しにより、給付費の増加に伴う保険料の上昇を抑えております。本計画では、保険給付総額を前期計画と比べ17.3%増の約264億円と見込み、保険料の基準月額を19.8%、額にして867円増の5,239円に設定しております。本計画案について、1月下旬に市内6会場で市民説明会を開催しており、今月14日には第3回介護保険事業計画運営委員会において、市民説明会での意見を報告するとともに計画案を諮問し、承認の答申をいただいたところであります。介護保険料の改定等につきましては、本定例会に係る条例案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

6、平成24年産米の生産数量目標について。

平成24年産米の需要量につきましては、23年産米に比べ427トン多い2万2,188トンが提示されました。これを受けて大館市農業再生協議会では、全農家に対する配分率を昨年度より1.1ポイント多い58.5%に決定したところであります。市町村への配分率の格差につきましては、23年度からの3年間で2分の1にすることとされ、本年度についても一定の措置がなされたも

のの依然として格差が残ることから、県へ引き続き格差解消を強く要望してまいります。

7、農業者戸別所得補償制度への取り組みについて。

国の農業者戸別所得補償制度は、平成24年度も本年度と同様の内容で継続されることから、米に対する助成や水田活用の所得補償交付金を有効活用するとともに、国の産地資金や県の基金事業である政策転換対応型農業支援事業を活用して重点戦略作物9品目を中心に助成を行ってまいります。また、市独自の大館市飼料用米等作付支援事業については、21年度から23年度まで10アール当たり2万円を交付しておりましたが、この3年間で一定の作付面積の増加が図られたため、24年度からは10アール当たり1万円に相当する数量払い方式とし、水田の有効活用を図ってまいりたいと考えております。本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

8、耕作放棄地対策への取り組みについて。

市農業公社による耕作放棄地等現況調査は、21年度から本年度までで市全域が完了し、耕作放棄地は水田が552ヘクタール、率で7.5%、畑は36.3ヘクタール、率で10.5%となっております。耕作放棄地再生利用事業により、この3年間で4.13ヘクタールが再生・活用されましたが、本年度、水田農業振興協議会・担い手総合支援協議会・耕作放棄地対策協議会の3団体を統合して設置した大館市農業再生協議会へ調査結果を引き継ぎ、今後、農地バンクの創設も含めて、さらに耕作放棄地の解消と再生による農地の有効活用を進め、戦略的農業の実現に向けて強力に支援してまいります。

9、農業農村整備事業の状況について。

平成22年度から実施している沼館地区の圃場整備事業は進捗率が50%で、26年度の完成見込みであります。24年度以降については、芦田子地区・上川沿地区の圃場整備を予定しております。笹館地区の農道整備事業は、昨年12月に延長1,301メートルの農道改良工事が完了しております。また、18年度から実施している山瀬地区の中山間地域総合整備事業による農道整備工事も本年1月に完成し、同事業では茂屋地区の農業用排水路整備1カ所を残すのみとなっております。これらの事業について、本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

10、林業振興事業の状況について。

本年度の市の森林整備事業では、21.1ヘクタールの私有林の初回間伐を実施しております。平成5年度の大館市森林整備公社設立と同時に森林整備事業をスタートさせ、これまでの19年間で878ヘクタール、計画面積の実に97%で初回間伐を実現できたことを、長く御尽力いただきました関係各位に感謝申し上げます。森林施業の集約化や搬出間伐などによる木材自給率の向上を目指す、国の森林・林業再生プランを踏まえ、24年度から市独自の補助事業について検討しており、引き続き市の林業・木材産業の発展に向けた施策を実施してまいります。なお、本年度の市有林造成事業では108.3ヘクタールの間伐を実施し、市有林枝打ち事業では57

ヘクターの枝打ちを実施したほか、市有林間伐材収集利活用事業では、間伐材から約76トンのペレットを製造しております。

11、養豚企業の誘致について。

田代地域の菅谷地地区に誘致した株式会社シムコの養豚農場「大館GGPセンター」は、今春の竣工、10月の操業開始に向けて順調に工事が進んでおります。市では、同センターの効果が最大限に発揮できるよう循環型農業の推進に向け、本年度から豚ふん堆肥を利用した有機農業の実証試験を行っているほか、養豚飼料として大館産飼料用米の利用・販売拡大にも取り組んでおります。今後の養豚企業の誘致につきましては、T P P問題でなかなか進展しない状況にありますが、今後も粘り強く誘致活動を展開してまいりたいと考えております。

12、地域活性化対策について。

市では、地域活性化に向け、地域応援プラン・地域おこし協力隊・外部専門家派遣事業など、さまざまな取り組みを実施しているところであります。地域応援プランでは、本年度38団体が活動しており、一例として、山田部落会では産直施設やインターネットを活用した原木マイタケの販売を行っており、コミュニティービジネスとしての可能性も見えてきております。現在、新たに10団体が地域づくり計画の策定に取り組んでおり、今後の各団体の活動に大いに期待しているところであります。地域おこし協力隊については、現在、大葛と越山の2地区に各2名が赴任し、地域で生活しながら地域の方々と一緒に地域活性化に向けた活動をしております。外部専門家派遣事業では、総務省から本市に派遣された地域再生マネージャーの小林詳子さんに、市内の女性パワーの活用を図るためのおおだて元気プロジェクトやANA総合研究所と連携した特産品の開発、さらには首都圏での販路拡大に向けた企業マルシェなどにも取り組んでいただいております。今後も市内全域の活性化に向け、さまざまな取り組みを全庁体制で推進してまいりたいと考えており、本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

13、再生可能エネルギーの取り組みについて。

市では、木質バイオマスの利活用を図るため、本年度、新たに公共施設にペレットストーブ9台を導入いたしました。また、ペレットストーブ設置費補助金事業の創設により、民間にペレットストーブ20台が設置されたところであり、これにより市内でのペレットストーブ設置台数は149台となりました。また、国のグリーンニューディール基金を活用して、平成24年度から27年度までの4年間で防災拠点施設や避難所となる公民館、小・中学校に太陽光発電システムを設置し、緊急時や災害時の電力を確保する予定であり、総事業費は約4億5,000万円となる見込みであります。

14、温暖化対策事業について。

市では、地球温暖化対策として、木質バイオマスの利用による二酸化炭素の削減と間伐事業による二酸化炭素の森林吸収に取り組むとともに、削減した二酸化炭素を販売するためのクレ

ジット制度の活用を進めております。公共施設へのペレットストーブなどの導入により削減した457トンの二酸化炭素については、既に国内クレジット制度を利用して販売しておりますが、市有林間伐事業による二酸化炭素吸収量3,064トンにつきましても、オフセット・クレジット（J-V E R）制度により来月末までにクレジット化できる見込みであり、24年度からの販売を予定しております。さらに、その販売代金の一部を活用して本県初のエコアクションプログラム事業に取り組むこととしており、市民の環境配慮行動（エコアクション）に対し、経済的インセンティブを付与し、市民への環境意識の浸透と環境行動の促進を図ってまいりたいと考えております。また、24年度から公共施設へのLED照明の導入を計画的に進め、低炭素社会の実現に向けた取り組みをさらに推進したいと考えており、本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

15、雇用情勢について。

この春の高校卒業予定者の就職につきましては、1月末現在217人の就職希望者のうち212人が内定し、率にして97.7%と昨年に比べ7ポイント高くなっております。一方、12月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は0.73と県内トップとなっており、東日本大震災後の5月以降上向き傾向にはありますが、依然として厳しい状況にあり、継続的な対策が求められております。市の緊急雇用関連対策では、本年度97事業で284人の雇用を確保しており、事業費は5億6,000万円ほどとなる見込みであります。24年度は、緊急雇用創出臨時対策基金事業が1年間延長となったことから、33事業で121人の雇用を確保したいと考えており、本定例会に総額約2億8,000万円の関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

16、冬まつりについて。

(1)比内とりの市。

28回目となりました比内とりの市は、1月21日、22日の両日、比内グラウンドを主会場に開催されました。比内地鶏ダービーや千羽焼きなどのイベントのほか、今年はミニSLの運行や米粉めんの試食会なども行われ、会場には首都圏や被災地からのモニターツアー客も訪れるなど、約4万人の来場者でにぎわいました。

(2)大館アメッコ市。

2月11日、12日の両日、おおまちハチ公通りを主会場に大館アメッコ市が開催されました。110店舗が軒を連ねる中、白髭大神巡行・秋田犬パレードなどのイベントや市内小学生による出店などが行われました。会場には弘前市からの500人規模のツアーを初め、JR東日本が企画する駅からハイキング、首都圏からのモニターツアーによる観光客も訪れるなど、約10万5,000人の来場者でにぎわいました。両イベントとも関係各位の御協力により、盛会裏に終了することができましたことを、心からお礼申し上げます。

17、道路の整備状況について。

二井田片貝沼田線道路改良工事では、本年度は橋台2基を建設中で3月末までに完了の見込

みであり、24年度には橋梁の上部工を施工予定であります。また、二中長面袋線道路改良工事では、本年度は用地測量が完了し、用地買収を進めながら一部で工事に着手しております。その他道路整備につきましては、狭あい道路整備等促進事業を活用し、幅員4メートル未満の狭隘道路の解消に向けて7路線の道路改良及び用地測量を実施しており、さらにきめ細かな交付金事業により19路線の道路補修や舗装工事を実施しております。橋梁につきましては、本年度、226橋の長寿命化修繕計画を策定し、24年度から補修詳細調査を実施しながら計画的に補修を進めてまいります。これらの事業について、本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

18、日本海沿岸東北自動車道の整備状況について。

日本海沿岸東北自動車道の大館北一小坂間は、5つの橋梁と5カ所のトンネルが延長の約75%を占めますが、これまですべての橋梁が架設され4カ所のトンネルが貫通しており、残る雪沢第一トンネルも来る3月10日に貫通式が予定されております。また、大館西道路は大館南インターチェンジ―二井田真中インターチェンジ間の2.6キロメートルを延伸し、去る12月17日に供用開始しております。現在、釈迦内地内で橋梁工事等を進めており、25年度には大館一小坂間が開通し、全国の高速自動車道ネットワークへの接続がいよいよ現実のものとなる見込みであります。鷹巣大館道路は、摩当山トンネルが昨年貫通し、現在は北秋田市の栄トンネルの工事が順調に進み、全体事業費ベースで進捗率は5割を超え平成20年代後半の開通が見込まれております。ミッシングリンクの解消を訴えてきた二ツ井白神インターチェンジ―あきた北空港インターチェンジ間は、昨年国から現道活用の方針が示され、24年度政府予算案に盛り込まれましたので、今後は当区間の早期着工を強く関係機関へ要望し、日沿道の全線開通に向けて努力してまいります。

19、水道施設の整備状況について。

本年度は、老朽管更新事業として前田野・有浦四丁目・東台三丁目地内などで延長約1.3キロメートルを整備し、水圧の確保や有収率・耐震性の向上を図ってまいりました。また、水道未普及地域解消事業では、昨年12月末に橋桁・大子内地区で整備が完了し、本年1月から供用を開始しております。さらに、矢立地区と釈迦内地区を結ぶ緊急時用連絡管の整備も昨年12月末に完成し、災害時には水道水の相互利用が可能となっております。今後も、計画的に老朽管の更新整備や未普及地域の解消を図るとともに、災害に強い水道の供給体制を目指して取り組んでまいります。

20、公共下水道の整備状況について。

公共下水道につきましては、これまでに280億4,000万円の事業費を投入しており、本年度末には認可区域の83.9%に当たる1,242ヘクタールが整備されることとなります。この4月からは、大館地域では御成町・中道・有浦・根下戸新町の一部、比内地域では味噌内の一部、田代地域では茂屋の一部、合わせて約44ヘクタールを新たに供用開始いたします。これにより対象

人口3万5,200人、1万4,400世帯の方々が下水道を利用できることになり、本市の普及率は1.7ポイント増の44.6%となる見込みであります。24年度は、御成町南地区土地区画整理事業の進捗に合わせた整備を行うとともに、引き続き御成町・有浦・根下戸新町・味噌内・茂屋などを整備し、新たに観音堂の整備に着手いたします。また、板子石・大田面・狐台などの都市計画用途地域の整備のため、計画区域の拡大を予定しております。

21、小・中学校の耐震対策事業について。

小・中学校の耐震対策事業については、平成30年度を目途として、すべての耐震対策工事をできる限り早期に終える計画で進めております。本年度は城南小学校校舎と田代中学校普通教室棟の耐震補強工事が12月末で完了しましたが、国の第3次補正予算を活用し、24年度に予定していた東中学校校舎と桂城小学校管理棟の耐震補強工事、さらに成章中学校体育館改築工事の3件を本年度に前倒しして実施することにいたしました。また、25年度までに実施することとしていた耐震二次診断については、24年度中にすべて完了させたいと考えております。本定例会にそれぞれの関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

22、新十二所公民館の供用開始について。

公民館施設の更新計画に基づく十二所公民館の移転改築工事が完了し、今月20日から新公民館及び出張所として業務を開始いたしました。成章書院をイメージした外観にバリアフリー・ペレットストーブ・秋田杉材の多用など数々の特徴を持つ新公民館は、地域の生涯学習や防災等にさまざまな機能を提供できるものと考えております。今後も計画的に公民館整備を進めてまいります。

23、有形文化財「真崎文庫」のデジタルデータ化及び安藤昌益の墓の県史跡指定について。

真崎文庫は明治時代の郷土史研究家真崎勇助が収集した古文書資料で、昭和26年に栗盛教育団から本市に寄贈され、中央図書館が所蔵・管理しております。この中にある菅江真澄の著作46点は、貴重な民俗資料として秋田県有形文化財に指定されており、その他の資料はすべて市指定有形文化財としております。市では、これらの原本保存とあわせてその活用を図るため、資料のデジタルデータ化を進めており、4月からは中央図書館内のパソコンで常時閲覧可能とするほか、菅江真澄の著作については市のホームページにも掲載し、広くアクセスできるようにしてまいります。また、去る2月10日、県文化財保護審議会から県教育委員会に対し、二井田温泉寺にある安藤昌益の墓を県史跡に指定するよう答申があり、正式に指定となった暁には安藤昌益関連の諸資料とあわせて、広く顕彰に努めたいと考えております。

24、医療費等のクレジットカード支払いについて。

総合病院及び扇田病院では、入院・外来・人間ドック等の診療費をクレジットカードで支払いができるよう加盟店契約を締結し、4月2日から取り扱いを開始いたします。利用可能なカードはVISA、MasterCard、JCB、DCなどとなっており、カード支払いの御要望に十分おこたえできるものと考えております。今後も市立病院を利用される皆様の利便

性向上とサービスの充実に努めてまいります。

25、ドクターヘリの運航開始について。

本年1月23日、県のドクターヘリが運航を開始いたしました。ドクターヘリ導入は全国27道府県で32機となっており、本県は東北で青森県・福島県に次ぐ導入となっております。これまで長時間を要していた管外3次医療機関への重症者の迅速な搬送など、救急救命でドクターヘリが担う役割は非常に大きなものがあります。市消防本部では、運航に伴う課題等を精査しながら、あらゆる事案に迅速かつ的確に対応できる体制の整備に努め、市民の救命率向上を図ってまいります。

続きまして、提出いたしました議案等につきまして主な内容を御説明申し上げます。

報第1号は、専決処分の報告についてであります。

これは、平成23年2月11日に比内町扇田字新長岡の佐藤石油株式会社比内給油所におきまして、本市所有の除雪トラックが給油計量機に接触し破損させた事故に伴う専決処分であります。この事故につきましては、相手方に誠意を示しながら解決に当たり、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として、専決処分をさせていただきますので、御報告申し上げます。

認第1号は、平成23年度大館市一般会計補正予算（第10号）にかかわる専決処分の承認についてであります。補正額は1億7,000万円の追加で、補正後の予算総額は328億9,844万1,000円となっております。

これは、昨年12月から本年1月中旬にかけての予想を上回る降雪により、既定の除排雪予算に不足が見込まれたため、歳出の土木費に除雪委託料等1億7,000万円を追加し、歳入では繰越金に同額を本年1月25日付で措置させていただいたものであります。

認第2号は、平成23年度大館市一般会計補正予算（第11号）にかかわる専決処分の承認についてであります。補正額は41万円の追加で、補正後の予算総額は328億9,885万1,000円となっております。

これは、小規模水道施設の緊急修繕のため、小規模水道等事業特別会計へ繰り出しを行う必要が生じたことから、歳出の衛生費繰出金及び歳入の繰越金に41万円を本年2月3日付で措置させていただいたものであります。

認第3号は、平成23年度大館市小規模水道等事業特別会計補正予算（第1号）にかかわる専決処分の承認についてであります。補正額は60万円の追加で、補正後の予算総額は396万円となっております。

これは、本年1月28日、比内地域水沢の小規模水道の送水管が凍結し、凍結解消のための修繕を早急に実施する必要性がありましたことから、歳出の総務費修繕料に60万円、歳入では一般会計繰入金41万円及び繰越金19万円を、本年2月3日付で措置させていただいたものであります。

議案第1号は、地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地方自治法が一部改正され、市町村における基本構想の策定に関する規定が削除されたことから、本市の総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想を策定すること等について、議会の議決すべき事件として条例に定めようとするものであります。

議案第2号は、議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、秋田県人事委員会の勧告を踏まえた職員の給与改定の状況を勘案し、議会の議員の議員報酬月額を本年4月分から減額しようとするものであります。

議案第3号は、大館市情報公開条例の一部を改正する条例案であります。

これは、情報公開を促進するため行政文書の開示に当たり、開示請求者が負担すべき費用について、本年4月分から区分・金額を見直し、条例施行規則で定めるなど所要の措置を講じようとするものであります。

議案第4号は、大館市職員定数条例の一部を改正する条例案であります。

これは、市立総合病院の救急告示病院等としての体制を整備するとともに、将来にわたり市民の健康を守り地域医療の充実を図っていくため、病院事業における職員の定数を増員しようとするものであります。

議案第5号は、市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第2号と同様に、市長及び副市長の給料月額を本年4月分から減額しようとするものであります。

議案第6号は、大館市特別会計条例の一部を改正する条例案であります。

これは、旧田代町において宅地造成事業を施行した際に秋田県町村土地開発公社から借り入れた資金の償還が本年3月で終了することに伴い、大館市宅地造成事業特別会計を廃止しようとするものであります。

議案第7号は、大館市山瀬財産区財政調整基金に関する条例案であります。

これは、山瀬財産区における財源の調整を図り、財産区財政の健全な運営に資するため、大館市山瀬財産区財政調整基金を設置しようとするものであります。

議案第8号は、大館市ケアハウスに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、ケアハウスほうおうにつきまして、本年4月から介護保険法に定める特定施設の指定を受け、入居者に対し介護サービスを提供できるようになることに伴い、入居要件・使用料を改める等、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第9号は、大館市墓地等の経営の許可等に関する条例案であります。

これは、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、いわゆる地域主権改革一括法の制定による墓地、埋葬等に関する法律の一部改正

に伴い、本市における墓地等の経営の許可等に関する基準等を定めるため、本条例を制定しようとするものであります。

議案第10号は、大館市介護保険条例の一部を改正する条例案であります。

これは、平成24年度から3年間の第5期介護保険事業計画の策定に伴い、事業の安定運営を図るため保険料を改定するとともに、介護保険法施行令の一部改正を踏まえ、保険料の所得段階区分を現行の8区分から9区分にしようとするものであります。

議案第11号は、大館市湯夢湯夢の里に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、湯夢湯夢の里温水プール及び温水プール休憩所につきまして、本年3月末をもって廃止するとともに、指定管理者による湯夢湯夢の広場の使用許可の取り消し事由について定める等、一部条文の整備をしようとするものであります。

議案第12号は、大館市県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例案であります。

これは、平成24年度から施行される曲田沢口地区県営ため池等整備事業において市が負担する地元負担金の一部につきまして、受益者である水利組合から分担金として徴収しようとするものであります。

議案第13号は、大館市森林整備事業分担金徴収条例を廃止する条例案であります。

これは、平成5年度から実施してきた大館市森林整備事業につきまして、所期の目的が達成され事業及び分担金の徴収が平成23年度で終了することから、本条例を廃止しようとするものであります。

議案第14号は、大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案であります。

これは、道路法施行令の一部改正により道路の上空に設ける施設等に係る占用料の区分が追加されたこと等に伴い、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第15号は、大館市営住宅に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地域主権改革一括法の制定による公営住宅法の一部改正に伴い、市営住宅の入居者資格のうち同居親族に関する要件を条例に規定するなど、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第16号は、教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第2号及び同第5号と同様に、教育長の給料月額を本年4月分から減額しようとするものであります。

議案第17号は、大館市図書館条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地域主権改革一括法の制定による図書館法の一部改正に伴い、図書館協議会の委員の任命基準を条例に規定しようとするものであります。

議案第18号は、大館市公民館条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地域主権改革一括法の制定による社会教育法の一部改正に伴い、公民館運営審議会の委員の委嘱基準を条例に規定しようとするものであります。

議案第19号は、大館市立スキー場に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、現在利用を休止し今後も利用が見込まれない比内町大葛の比内スキー場につきまして、本年3月末をもって廃止しようとするものであります。

議案第20号は、大館市消防団員の定員及び任免に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、消防団員の確保が年々困難になる中におきまして、消防団組織の円滑な運営を図るため団員の定年を65歳まで延長しようとするものであります。

議案第21号は、大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例案であります。

これは、地域主権改革一括法の制定による下水道法の一部改正に伴い、下水道の整備計画に関する国等による認可制度が本年3月をもって廃止されることから、関連する3条例について所要の措置を講じようとするものであります。

議案第22号は、大館市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、医療法の改正により標榜する診療科の表記方法が変更となったこと等を踏まえ、本年4月から総合病院及び扇田病院の診療科目を改めるとともに、総合病院精神科について病床数を削減しようとするものであります。

議案第23号は、大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第2号、同第5号及び同第16号と同様に、病院事業管理者の給料月額を本年4月分から減額しようとするものであります。

議案第24号は、議決内容の一部変更についてであります。

これは、日本海沿岸東北自動車道建設工事のための市有地売却に当たり、平成15年9月定例市議会で議決をいただき、旧日本道路公団東北支社との間で締結した土地売買契約につきまして、一部の土地に附属する個人所有の物件の収去が完了せず契約を変更する必要性が生じたことから、土地の売却面積及び売却予定価格を変更することについて議会の議決をお願いするものであります。

議案第25号は、市道路線の廃止についてであります。

これは、市道路線の終点に変更が生じたため、当該路線を廃止しようとするものであります。

議案第26号は、市道路線の認定についてであります。

これは、生活関連道路を市道に認定し、管理しようとするものであります。

議案第27号は、大館市過疎地域自立促進計画の一部変更についてであります。

これは、本市が所有する除雪機械の計画的な更新を図るため、平成22年9月定例市議会で議決をいただいた過疎地域自立促進計画における実施事業に除雪機械整備事業を追加しようとするものであります。

議案第28号は、平成23年度大館市一般会計補正予算（第12号）案であります。

今回の補正額は、10億2,141万6,000円の追加で、補正後の予算総額は339億2,026万7,000円となる見込みであります。

まず、歳入の補正の主な内容を申し上げますと、市税では、市民税法人分で1億5,798万2,000円、固定資産税で1億3,000万円、市たばこ税で5,000万円をそれぞれ追加。地方交付税に4億5,219万4,000円を追加。国庫支出金では教育費国庫補助金で国の平成23年度第3次補正予算に伴う学校施設環境改善交付金1億5,585万6,000円を追加。県支出金では労働費県補助金でふるさと雇用再生特別交付金・緊急雇用創出事業交付金5,419万2,000円を減額。諸収入では総務費雑入で秋田県市町村振興協会市町村助成金及び交付金合わせて5,422万2,000円を計上。市債では、災害復旧事業債2,700万円を減額、教育施設整備事業債1億1,340万円を追加したものであります。

次に、歳出の主な内容について申し上げますと、総務費では財政管理費で財政調整基金及び減債基金積立金に合わせて7億4,415万9,000円を追加。民生費では、国民健康保険費で国民健康保険特別会計繰出金に1,141万3,000円、介護保険費で介護保険特別会計繰出金に2,070万8,000円をそれぞれ追加。衛生費では、市立総合病院への負担金・補助金に3,247万6,000円、墓地管理費に墓地公園等整備基金積立金3,218万9,000円をそれぞれ追加。農林水産業費では酪農及び畜産振興費で用地造成工事費など1,489万2,000円を減額。商工費では工業振興費で用地取得費助成金5,000万円を計上。土木費では都市計画総務費に生活バス路線維持費補助金1億2,336万1,000円を計上。教育費では小・中学校費の施設維持及び改良費に学校の耐震化工事費と合わせて2億8,631万円を追加。諸支出金では水道事業等への公営企業助成費で3,931万5,000円を減額しております。

また、第2条第2表に高齢者福祉施設設備整備事業など合わせて11件に係る繰越明許費の追加及び変更を、第3条第3表には平成23年度農業経営基盤強化資金利子助成金など合わせて16件に係る債務負担行為の追加・廃止及び変更を、さらに第4条第4表には上水道出資金など16件に係る地方債の限度額の変更をお願いしております。

議案第29号から同第45号までの17件は、平成23年度大館市の各特別会計における補正予算案等であります。

議案第29号は、平成23年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は、歳入の国民健康保険税、歳出の共同事業拠出金の追加等によるもので、歳入歳出とも2,333万7,000円を追加し、補正後の予算総額は95億8,770万3,000円となる見込みであります。

議案第30号は、平成23年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は982万2,000円の追加で、補正後の予算総額は8億1,403万9,000円となる見込みであります。

議案第31号は、平成23年度大館市介護保険特別会計補正予算（第3号）案であり、今回の補

正は、保険給付費の追加等によるもので、歳入歳出とも1億4,474万1,000円を追加し、補正後の予算総額は81億3,616万7,000円となる見込みであります。

議案第32号は、平成23年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は、繰越金の計上等によるもので、歳入歳出とも2,296万8,000円を追加し、補正後の予算総額は1億260万8,000円となる見込みであります。

議案第33号は、平成23年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は、戸別浄化槽使用料を減額し歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は、補正前と同額の2,816万2,000円となる見込みであります。

議案第34号は、平成23年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は、診療収入を減額し歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は、補正前と同額の4,020万2,000円となる見込みであります。

議案第35号は、平成23年度大館市田代診療所事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は、診療収入の減額等により歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は、補正前と同額の6,654万9,000円となる見込みであります。

議案第36号は、平成23年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正額は8万5,000円の追加で、補正後の予算総額は2,574万1,000円となる見込みであります。

議案第37号は、平成23年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正額は119万9,000円の減額で、補正後の予算総額は3億6,614万円となる見込みであります。

議案第38号は、平成23年度大館市公営駐車場事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は、繰越金を計上し歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は、補正前と同額の4,265万1,000円となる見込みであります。

議案第39号は、平成23年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は、使用料を減額し歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は、補正前と同額の1,765万2,000円となる見込みであります。

議案第40号は、平成23年度大館市奨学資金特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は397万円の追加で、補正後の予算総額は3,147万円となる見込みであります。

議案第41号は、平成23年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第3号）案であり、今回の補正額は225万8,000円の減額で、補正後の予算総額は5億8,904万6,000円となる見込みであります。

また、第2条第2表に御成町南地区土地区画整理事業に係る繰越明許費の設定を、第3条第3表には地方債の限度額の変更をお願いしております。

議案第42号は、平成23年度大館市土地取得特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補

正額は6万3,000円の追加で、補正後の予算総額は6万7,000円となる見込みであります。

議案第43号は、平成23年度大館市宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は、用地造成費償還金の追加によるもので、歳入歳出とも711万円を追加し、補正後の予算総額は2,611万3,000円となる見込みであります。

議案第44号は、平成23年度大館市宅地造成事業特別会計への繰入れについてであります。

これは、ただいま議案第43号で御説明申し上げました平成23年度大館市宅地造成事業特別会計におきまして、秋田県町村土地開発公社に対し借入金の繰上償還を行うことに伴い、平成23年度大館市一般会計から2,611万円を繰り入れしようとするものであり、地方財政法第6条の規定により、議会の議決をお願いするものであります。

議案第45号は、平成23年度大館市財産区特別会計補正予算（第2号）案であります。

上川沿・下川沿・片山・川口・餅田・立花・山瀬の7財産区につきまして、合わせて1,803万9,000円を追加し、補正後の予算総額は7財産区勘定で4,538万円となる見込みであります。

議案第46号は、平成23年度大館市水道事業会計補正予算（第4号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入では、他会計補助金等を123万5,000円減額したことにより、補正後の総額は13億1,674万7,000円となる見込みであります。一方、支出では、減価償却費等を3,328万9,000円減額したことにより、補正後の総額は12億6,100万1,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では工事負担金等を4,631万4,000円減額したことにより、補正後の総額は2億3,179万4,000円となる見込みであります。また、支出では工事請負費等を5,115万2,000円減額したことにより、補正後の総額は6億6,647万8,000円となる見込みであります。

このほか、第4条及び第5条に既定の企業債の限度額等につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

議案第47号は、平成23年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、業務の予定量であります。年間総給水量を13万7,000立方メートル増の126万4,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入では、給水収益を338万6,000円追加し、他会計補助金を257万4,000円減額したことにより、補正後の総額は4,564万2,000円となる見込みであります。また、支出では、動力費等を88万1,000円追加したことにより、補正後の総額は4,560万5,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、工事請負費等を179万9,000円減額したことにより、補正後の総額は2,308万9,000円となる見込みであります。

このほか、第5条及び第6条に経費の流用に関する事項等につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

議案第48号は、平成23年度大館市下水道事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、業務の予定量であります。排水戸数を128戸増の1万1,190戸に、年間総排水量を

4,000立方メートル減の253万立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入では、他会計補助金等を1億2,834万7,000円追加し、他会計負担金等を1億6,513万1,000円減額したことにより、補正後の総額は11億7,199万7,000円となる見込みであります。支出では、流域下水道の維持管理負担金・企業債利息等を2,863万4,000円減額したことにより、補正後の総額は、13億1,357万9,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では受益者負担金等を571万2,000円追加したことにより、補正後の総額は12億3,710万3,000円となる見込みであります。また、支出では、公共下水道の工事請負費等を2,614万5,000円追加し、流域下水道の事業費負担分や補償金等を3,896万8,000円減額したことにより、補正後の総額は17億3,616万4,000円となる見込みであります。

このほか、第5条から第7条に既定の債務負担行為の限度額等につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

議案第49号は、平成23年度大館市病院事業会計補正予算（第4号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入では、他会計負担金等を3,799万3,000円追加し、補正後の総額は103億7,340万9,000円となる見込みであります。支出では、資産減耗費等を1,314万4,000円追加し、給与費等を4,788万5,000円減額したことにより、補正後の総額は110億8,757万8,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では、補助金を521万2,000円追加し、企業債等を417万9,000円減額したことにより、補正後の総額は8億2,708万5,000円となる見込みであります。また、支出では建設改良費を303万6,000円減額し、補正後の総額は11億5,951万5,000円となる見込みであります。

このほか、第4条から第8条に既定の債務負担行為等につきまして、それぞれ変更等をお願いしております。

議案第50号は、平成24年度大館市一般会計予算案であります。

平成24年度の当初予算につきましては、生活保護費その他の扶助費の増に対応するため、基金繰入金等の増額により必要な財源を確保し、雇用確保・景気対策・福祉の充実を喫緊の課題と位置づけるとともに、地域経済の回復と市民サービスの維持向上、そして、災害時の市民生活安定に重点を置き、必要な事業費等について措置した内容となっております。当初予算の総額につきましては302億3,625万1,000円となり、骨格予算とした前年度当初予算と比較しますと、額で9億1,561万1,000円、率で3.1%の増。また、投資的経費を追加した前年度6月補正後予算との対比では、額で12億5,742万5,000円、率で4.0%の減となっております。

それでは、歳入から主な内容を御説明申し上げます。まず、財源の根幹をなす市税は73億5,332万7,000円で、前年度と比較しますと額で1億3,812万3,000円、率で1.8%の減となっており、内訳では、個人・法人を合わせた市民税で139万2,000円の増、固定資産税では評価がえに伴い1億5,897万円の減などとなっております。地方交付税では総額が115億3,480万5,000円で、前年度と比較して365万5,000円の増。国庫支出金は35億2,064万1,000円を計上し、主な内

容は、障害者自立支援給付費負担金 5 億5,724万円、生活保護費負担金13億2,048万円、子ども手当負担金 8 億1,821万2,000円などとなっております。県支出金は19億5,880万2,000円を計上し、主な内容は、福祉医療費補助金 2 億5,404万7,000円、緊急雇用創出臨時対策基金事業交付金 2 億8,054万1,000円となっております。繰入金には減債基金繰入金 3 億円など、総額 4 億7,472万8,000円を計上し、市債では、光ブロードバンド整備事業債 1 億8,110万円、臨時財政対策債に14億円など、総額23億6,500万円を計上しております。

次に、歳出について主な内容を申し上げますと、議会費には 3 億486万円を計上。総務費では26億3,657万5,000円を計上し、主な内容は、情報政策費に光ブロードバンド整備事業の工事費 1 億5,435万円。民生費では総額104億641万6,000円を計上し、主な内容は、障害者福祉費に12億974万9,000円、後期高齢者医療費に10億9,279万3,000円、介護保険費に13億577万4,000円、保育園費には 8 億4,219万7,000円、子ども手当費に10億8,299万4,000円、生活保護費の扶助費に17億6,427万4,000円などとなっております。衛生費では総額43億916万9,000円を計上し、主な内容は、市立総合病院及び扇田病院への負担金・補助金合わせて16億1,689万円、子宮頸がんワクチンなどの予防接種費に 1 億6,043万9,000円、ごみ焼却処理費に 8 億4,613万5,000円。労働費には7,943万4,000円を計上。農林水産業費には総額で10億5,856万2,000円を計上し、主な内容は、農業基盤整備事業費に6,621万1,000円、水田農業推進費に飼料用米等作付支援事業補助金などで5,809万3,000円、地域振興費に地域づくり協働推進支援事業費補助金などで7,798万1,000円、酪農及び畜産振興費に比内地鶏糞処理施設建設事業費などで 2 億2,636万4,000円。商工費には総額で 9 億8,978万円を計上し、主な内容は、商工金融対策費に中小企業融資あっせん資金預託金など 6 億3,003万8,000円、観光費に 1 億856万2,000円。土木費には総額18億2,014万2,000円を計上し、主な内容は、道路維持費に 1 億2,141万8,000円、道路新設改良費に 4 億6,596万8,000円、公園維持費に 1 億3,231万9,000円、建築指導費に住宅リフォーム緊急支援事業費補助金などで6,177万6,000円。消防費は総額11億3,754万3,000円を計上し、常備消防費に 9 億7,889万2,000円。教育費は総額27億9,641万2,000円を計上し、主な内容は、小学校施設維持及び改良費に桂城小学校校舎耐震補強工事や東館小学校ペレットボイラー導入工事などで 1 億2,876万6,000円、社会教育費の施設維持及び改良費に市民文化会館電気設備改修工事及び中央公民館エレベーター設置工事などで9,264万4,000円。公債費には35億8,963万4,000円を計上。諸支出金では災害時等に安定した水の供給を行うために、中山取水場及び山館浄水場の自家発電設備整備に伴う出資金3,520万円を含む公営企業会計への負担金・補助金等、10億5,772万3,000円を計上しております。なお、緊急雇用創出臨時対策基金事業につきましては、地域ポータルサイト構築事業など合わせて33事業に 2 億8,122万3,000円を計上しております。

このほかに、第 2 条第 2 表に基幹業務システム機器更新事業など32件に係る債務負担行為の設定を、第 3 条第 3 表には上水道出資金など19件の地方債の限度額等の設定を、第 4 条に一時

借入金の限度額の設定を、また、第5条には予算の流用に関する事項につきまして、それぞれ御提案申し上げております。

議案第51号から同第66号までの16件は、平成24年度大館市の各特別会計における予算案であります。

議案第51号は、平成24年度大館市国民健康保険特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は90億4,584万5,000円となっており、主な内容は、歳入で、国民健康保険税に13億8,342万9,000円、国庫支出金に16億6,173万7,000円、支払基金からの前期高齢者交付金に30億6,209万1,000円を計上し、歳出では保険給付費に60億1,264万6,000円を計上しております。

なお、このほかに、第2条及び第3条に一時借入金の限度額の設定等につきまして、それぞれ御提案申し上げております。

議案第52号は、平成24年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は8億8,859万6,000円となっており、主な内容は、歳入で、後期高齢者医療保険料に6億3,918万8,000円、一般会計繰入金に2億4,931万9,000円、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金に8億8,204万3,000円を計上しております。

議案第53号は、平成24年度大館市介護保険特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は84億3,485万7,000円となっており、主な内容は、歳入で、保険料に14億8,004万9,000円、国庫支出金に20億6,373万8,000円、支払基金交付金に23億7,492万7,000円を計上し、歳出では保険給付費に81億5,931万9,000円を計上しております。

なお、このほかに第2条及び第3条に一時借入金の限度額の設定等につきまして、それぞれ御提案申し上げております。

議案第54号は、平成24年度大館市介護サービス事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は1億867万5,000円となっており、主な内容は、歳入で繰入金に1億867万2,000円を計上し、歳出では、公債費に7,658万9,000円、施設整備費に3,208万5,000円を計上しております。

議案第55号は、平成24年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は2,873万5,000円となっており、主な内容は、歳入で、使用料及び手数料に1,306万円、一般会計繰入金に1,567万3,000円を計上し、歳出では総務費に2,008万4,000円を計上しております。

議案第56号は、平成24年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は333万4,000円となっており、主な内容は、歳入で使用料及び手数料に185万9,000円、歳出では総務費に333万4,000円を計上しております。

議案第57号は、平成24年度大館市休日夜間急患センター特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は3,949万9,000円となっており、主な内容は、歳入で診療収入に2,653万

2,000円、歳出では休日夜間急患センター費に3,676万3,000円を計上しております。

議案第58号は、平成24年度大館市田代診療所事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は6,957万8,000円となっており、主な内容は、歳入で診療収入に4,955万9,000円、歳出では医業費に6,610万2,000円を計上しております。

議案第59号は、平成24年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は4,051万5,000円となっており、主な内容は、歳入で基金繰入金に3,062万5,000円、歳出では卸売市場費に3,951万4,000円を計上しております。

議案第60号は、平成24年度大館市農業集落排水事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は3億7,127万5,000円となっており、主な内容は、歳入で、使用料及び手数料に8,224万1,000円、繰入金に2億4,322万9,000円を計上し、歳出では、農業集落排水費に1億1,683万5,000円、公債費に2億5,443万9,000円を計上しております。

なお、このほかに、第2条第2表に2件の債務負担行為の設定を、第3条第3表に地方債の限度額等の設定につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第61号は、平成24年度大館市公営駐車場事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は4,228万9,000円となっており、主な内容は、歳入で一般会計繰入金に3,767万3,000円、歳出では公債費に3,177万5,000円を計上しております。

なお、このほかに、第2条第2表に債務負担行為の設定につきまして、御提案申し上げます。

議案第62号は、平成24年度大館市温泉開発特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は1,280万6,000円となっており、主な内容は、歳入で温泉事業収入に1,220万8,000円、歳出では温泉経営費に898万5,000円を計上しております。

議案第63号は、平成24年度大館市奨学資金特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は2,656万4,000円となっており、主な内容は、歳入で返済金に2,656万1,000円、歳出では奨学資金貸付金などで2,656万4,000円を計上しております。

議案第64号は、平成24年度大館市都市計画事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は10億6,090万8,000円となっており、主な内容は、歳入で、国庫支出金に2億9,700万円、一般会計繰入金に4億5,534万9,000円、歳出では都市計画事業費に6億7,688万2,000円を計上しております。

なお、このほかに、第2条第2表に地方債の限度額等の設定につきまして、御提案申し上げます。

議案第65号は、平成24年度大館市土地取得特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は4,000円であり、歳入歳出とも存置項目のみを計上しております。

議案第66号は、平成24年度大館市財産区特別会計の上川沿財産区勘定から山瀬財産区勘定までの7財産区勘定における予算案であります。

本年度の予算総額は、7勘定合わせて1,894万5,000円であり、内容はいずれも各財産区が所有する財産の管理及び区域内の公益事業の実施等に係る費用であります。

議案第67号は、平成24年度大館市水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で給水戸数を136戸増の2万5,449戸、年間総給水量を0.9%減の552万8,400立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は給水収益・他会計補助金等で13億1,274万1,000円とし、支出は営業費用等で12億7,097万4,000円としております。資本的収入及び支出であります。収入は企業債・出資金等で3億1,219万5,000円とし、支出は御成町一丁目地内ほかの配水管布設替工事に係る建設改良費・企業債償還金等で7億9,796万7,000円としております。

このほか、第5条から第11条に債務負担行為に関する事項等につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第68号は、平成24年度大館市工業用水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で年間総給水量を3%増の116万1,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は給水収益・他会計補助金等で4,543万6,000円とし、支出は営業費用等で4,444万5,000円としております。資本的収入及び支出であります。収入は存置項目のみで、支出は建設改良費と企業債償還金で4,909万円としております。

このほか、第5条から第9条に債務負担行為に関する事項等につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第69号は、平成24年度大館市下水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で排水戸数を506戸増の1万1,568戸、年間総排水量を0.4%増の254万4,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は下水道使用料・他会計補助金等で12億1,188万円とし、支出は営業費用等で13億4,638万2,000円としております。資本的収入及び支出であります。収入は企業債・国庫補助金等で12億5,872万1,000円とし、支出は有浦地区ほかの公共下水道工事に係る建設改良費・企業債償還金等で17億7,837万9,000円としております。

このほか、第5条から第10条に債務負担行為に関する事項等につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第70号は、平成24年度大館市病院事業会計予算案であります。

平成24年度の病院事業につきましては、さきに改定した病院事業経営改革プランに基づき、DPC対象病院への移行、病院機能評価の認定を目指すなど、地域の中核病院として引き続き療養環境の充実と高度医療の提供に努めてまいります。最初に、業務の予定量であります。1日平均患者数を総合病院の入院で366人、外来で1,100人、扇田病院の入院で98人、外来で180人としております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は外来収益・他会計補

助金等の増により前年度当初比で4.3%増の105億3,947万1,000円とし、支出は医業費用等で前年度当初比0.9%増の110億3,466万5,000円としております。また、資本的収入及び支出であります。収入は企業債・他会計負担金等で8億3,231万7,000円とし、支出は医療機器等整備事業費等・企業債償還金で11億1,331万3,000円としております。

このほか、第5条から第12条に債務負担行為に関する事項等につきまして、それぞれ御提案申し上げております。

報第2号は、本日提出いたしました議案で、専決処分の報告についてであります。

これは、本年1月16日に出勤中の救急車が東台一丁目地内の民家の塀に接触し、破損させた事故に伴う専決処分であります。この事故につきましては、相手方に誠意を示しながら解決に当たり、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として、専決処分をさせていただきますので、御報告申し上げるものであります。

以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。(降壇)

○議長（藤原美佐保君） これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。
御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原美佐保君） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（藤原美佐保君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、3月5日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前11時27分 散 会
